

## 令和元年度(2019年度) 事業報告

公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団

令和元年度の当財団法人が実施した事業概要は下記の表のとおりである。

主たる事業の研究助成は、研究助成は92件と応募数で6年ぶりに100件を切る、また多施設共同研究助成は8件の応募の中から、「研究助成」40件、「多施設共同研究助成」は新規3件、継続4件の、総数47件を助成した。海外短期留学助成は計画通り3件の実績となった。

「顕彰」は2件、全国的な規模のライブセミナーに対して行う「研究会助成」はコロナウイルス感染拡大の影響により年度末に2件の開催延期が発生し計6件に助成を実施した。また、海外関連助成事業のうち、「海外研究医受入助成」において来日中止が1件発生し23件の実績、また「海外派遣助成」は昨年並みの23件・530万円と計画35件・700万円には大きく未達となった。

以上、当年度も計画に基づき慎重な運営を行い、計画5,470万円に対し合計で5,197万円・予算執行率95%と若干未消化となったが、概ね計画に沿った助成を実施した。

摘 要	金 額	備 考
1. 定款第4条(1)の事業	2,800万円	内視鏡医学研究に関する研究助成 研究助成金(A) 100万円×2名 研究助成金(B) 50万円×38名 多施設共同研究助成 第1年次 100万円×3名 第2年次 100万円×2名 第3年次 100万円×2名
	150万円	海外に短期で留学する研究医に対する助成 内視鏡医学研究医海外短期留学助成3件(前年4件) カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部放射線科 ワシントン大学・シアトル小児病院・小児外科学講座 Prof.Kenneth K.Wang,Division of Gastroenterology and Hepatology,Mayo Clinic
2. 定款第4条(2)の事業	100万円	内視鏡医学研究に功績のあった者に対する顕彰 顕彰金 50万円×2名
3. 定款第4条(3)の事業	180万円	内視鏡医学に関する研究会の振興に対する助成 研究会助成 6件 (前年度8件)
4. 定款第4条(4)の事業	1060万円	内視鏡医学研究のため来日する海外研究医に対する助成 海外研究医受け入れ助成26件(前年24件) 中国4名、ロシア・ミャンマー各3名、ベトナム・スウェーデン 各2名、アメリカ・イタリア・ウクライナ・インド・インドネシア・ カンボジア・タイ・パキスタン・フィリピン・マレーシア・ブラジ ル・アルゼンチン 各1名
5. 定款第4条(5)の事業	530万円	内視鏡医学研究のため国際学会に参加する研究 医に対する助成 内視鏡医学研究医海外派遣助成23件(前年19件) 消化器分野 DDW:8名, UEGW:4名, ESGE:2名 外科分野 ELSA:3名, ACS:1名, EAES:1名 呼吸器分野 ESTS:2名 ERS:1名 婦人科分野 AAGL:1名
6. その他	377万円	助成事業に関連する会議費 選考委員会及び贈呈式等開催費用
合 計	5,197万円	前年比42万円増

\* 海外短期留学助成は内閣府の指導により、定款4条(1)の事業「内視鏡医学研究に関する個人又はグループに対する研究助成」に移動した。